



プレス加工コストダウンニュース

材質を問わず、薄く、強く、軽く、板厚も均一に、形状も自由自在に加工できる高度な深絞りの技術を持つ加藤製作所なら、必ず安心・安全な製品づくりのお役に立てます。

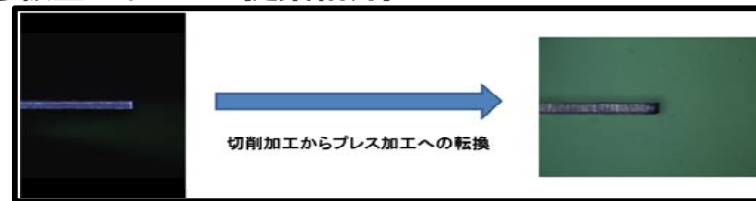


深絞り加工で原価低減2ピースを1ピース化へ



当社では、鶏舎、豚舎で使用される大型換気扇のダクトASSYを製作していますが、形状が大きいため(Max□1100mm) 多くはフランジカバー部とベルマウス部の2ピースになっており、溶接でつなぎ合わせ一体化する方法が取られています。今回、当社の深絞り加工技術を活用しお客様からの原価低減の要請に応じて、2ピースを1ピースにする加工方法を実現させました。それによって大幅なコストダウンが図れました。

ダレ無し・バリ無しコンパウンドプレス打抜き事例 (切削から板金へのVEVA提案紹介)



あるお客様では、従来極薄ステンレス板(7.5mm×4mm)の端面を研磨で仕上げてみえした、そこで新たに当社から精密コンパウンド金型での打抜き加工を提案し、角R(ダレ/バリ)の厳しい要求精度を見事クリア(ダレ0.3mm バリ0.0mm)しました。これによって形状切抜き加工、4面研磨からサーボプレス1工程での加工となり、大幅な原価低減を実現しました

深絞り+PLUSの技能ノウハウ



当社では様々な深絞り加工に他の加工を組み合わせることが得意です。それは多くの業種業態のお客様との取引きで培いました。昨今、金型費を掛けたくないお客様が多くなり当社では形状によりどうしても金型しか加工できない部位(絞りなど)のみ型化する提案をしています。(深絞り+板金) また切削加工を深絞り加工にする工法転換も数多く手掛けています。そこで活躍するのが、当社の対向液圧プレスとNC旋盤または5軸マシンセンタです。深絞り加工で形状を作ってから必要な部位のみ切削して精度を出す方法または部分的に切断穴あけ加工などをする方法等、用途は幅広くお客様の原価低減に貢献しています。

～今月の一言～

最新ニュース：最新の設備導入に関するご紹介！

当社は「深絞りのかとう」と共に「板金溶組にも強いのかとう」としてお客様にご愛顧頂いています。昨年8月に導入したハイブリッドベンダーに続いて、この4月末に新たにファイバレーザとパンチングとの複合マシンを導入します。省エネ・低コストで高効率な工程統合を実現した



機械で素材棚と製品棚の2棚仕様により複数の素材(アルミ・ステンレス・spc各6mm・銅4mm・真ちゅう5mm迄)と製品の連続自動運転が可能で大幅なリードタイムの短縮が実現します。

これにより当社が目指すスマートファクトリー化が大きく前進します。

深絞り技術をご紹介します！カバー・タンクなどの設計・製作でお困りの際には、ご相談ください！

株式会社加藤製作所では、プレス加工技術の中でも絞り加工技術を得意とし、タンク・カバー部品などの量産加工に対応しています。対応可能な材質は、鉄系の材料はもちろん、ステンレス・アルミ・チタン・ Hastelloy等、様々です。技術ニュース内でご紹介をした以外にも、これまでに製作してきた事例などを絞り加工.comに随時更新してまいります。量産品の設計される際に、考えて頂きたいプレス加工におけるポイントなども掲載しています。ご不明点や知りたい情報がありましたら、お気軽にご相談ください！

絞り加工、プレス絞り加工、絞り、深絞り

絞り加工.COM

複雑な形状の深絞り加工 加工の難しい材質の深絞り

☎ 0573-65-4175

FAX 0573-65-4177

株式会社加藤製作所

担当/営業部 西尾・兼松(アシスタント 吉田)